



第4回 大沼由紀舞踊公演

Esponánea IV

—フラメンコ、自然発生的な—



Al baile (踊り) Yuki Onuma (大沼由紀)

Al cante (歌) Tomás Rubichi (トマス・ルビチ)

Al toque (ギター) Domingo Rubichi (ドミンゴ・ルビチ)

A las palmas (パルマ) José Rubichi (ホセ・ルビチ)

Ali de la Tota (アリ・デ・ラ・トタ)

2016年11月2日(水) 開場19:00 開演19:30

11月3日(祝・木) 開場16:30 開演17:00

[場所] 座・高円寺2 (杉並区立杉並芸術会館)

[料金] 全席指定 前売 8,500円 当日 9,000円



第4回 大沼由紀舞踊公演 Espontánea IV

—フラメンコ、自然発生的な—

José Rubichi ホセ・ルビチ

ギタリスト、ドミンゴ・ルビチの弟。ヘレス独特の繊細かつ豊かなコンパスを表現できるバルメロの第一人者。パコ・デ・ルシア、カプージョ・デ・ヘレス、ランカビーノ、ホセ・メルセーなど、数々の著名アーティストから絶大な信頼を得ている。

Tomás Rubichi トマス・ルビチ

マヌエル・アグヘータとディエゴ・ルビチを叔父に持つ、名門ヒターノ。コマーシャルズムから一線を画したその歌は、気高さと必然に満ちている。ファミリアの中で培われた本物のフラメンコの担い手として、セビージャのビエナルに呼ばれるなど、今彼の歌に注目が集まっている。



Yuki Onuma 大沼由紀

ヘレスのフラメンコに惹かれ、彼の地に1人住んだ頃から早23年。ヘレスのフラメンコが教えてくれた「その時に聞こえたことを踊る」を信条に、自然発生的な舞踊の極みを目指す。

Domingo Rubichi ドミンゴ・ルビチ

父はあの名カンタオール、ディエゴ・ルビチ、母はティオ・ファネ・デ・ラ・フラグアの娘というヒターノの家系で、幼い頃から数々の舞台で演奏する。一切の飾りを必要としない彼のギターは、歌い手、踊り手の中にある「何か」を引き出し、真実へと導いていく。

Ali de la Tota アリ・デ・ラ・トタ

アントニオ・エル・ピパ、マリア・デル・マル・モレノなど一流の踊り手を支える存在でありながら、舞台を降りた時にこそフラメンコが無ければ本物ではないと言い切る、街に生きるアーティスト。ホセとのコンビネーションが、珠玉のコンパスを生む。

舞台監督 やまだてるお モモブランニング (有)
音響 山本祐介 (株) 共立
照明 林三紗子
宣伝美術 秋山薫子
衣装 ソニア・ジョーンズ / 小高光江
制作 プレーニャ / 塩川千尋

2016年11月2日(水) 開場19:00 開演19:30 11月3日(祝・木) 開場16:30 開演17:00 [料金] 全席指定 前売 8,500円 当日 9,000円

座・高円寺2

JR中央線「高円寺」駅 北口徒歩5分
〒166-0002 杉並区高円寺北2-1-2 Tel. 03-3223-7500

【ご予約・お問い合わせ】 Espontánea公演事務局

espontanea@y-mobile.ne.jp Tel. 070-5464-1971

